

(3) 介在物の分離法についての開発研究が必要である。  
 る。

青 武雄 [紙上発言]

牛島清人 [紙上発言]

介在物の分類法および呼び方の統一をはかりたい。

鋼の凝固中の介在物の偏析について研究する必要がある。

付 記

この資料は昨年(昭 37 年 10 月) 広島における本会講演大会の折開催された“鋼中非金属介在物研究の問題点”を主題とするパネル討論会において、交された質疑応答の経過を集録したものである。

本稿は当日発言した討論参加者に、再度要旨を原稿として提出して頂き、これを講演者に回送して応答の記述を依頼し、さらに当日の録音テープを参照して、その正確を記した。なお当日時間不足のため発言されなかつた質疑応答についても、紙上討論として本稿に折込んで編集した。

当日の講演大要は、[本誌, 48 (1962) 11, p. 1533~1548] に掲載されているから、本資料とともに参照されたい。

この資料を編集するに当つて、ここに改めて講演者、討論参加者の協力に感謝するとともに、とくに本資料の編集に尽力された内山郁、水野直彦両幹事の努力に厚く御礼申上げる。  
 (長谷川 正義)

正 誤 表 鉄と鋼 48 (1962) 11, 講演大要パネル討論会前刷

ペ ー ジ	誤	正
1537 右上より 7 行目	鍋湯成分の	鋼湯成分の
1538 左上より 11 行目	炭素系に地……	低炭素系に地……
1538 左~3)	は $\sim 0.03\%$	は $\geq 0.03\%$
1539 左-IV-1)	Gibbs は	Gibbs の
〃 同上数式	$= n k T \ln K$	$= n k T \ln K$
〃 〃ただし書	$n$ : ……分子量	} $n$ : ……分子数
〃 〃	〃	
1539 右上数式	$(\geq r/r) \cdot C$	$\geq (r/r) \cdot C'$
1539 右 4) 2 行目	……を律則するより	……を律速するより
1540 文献 3)	194 (1960)	195 (1960)